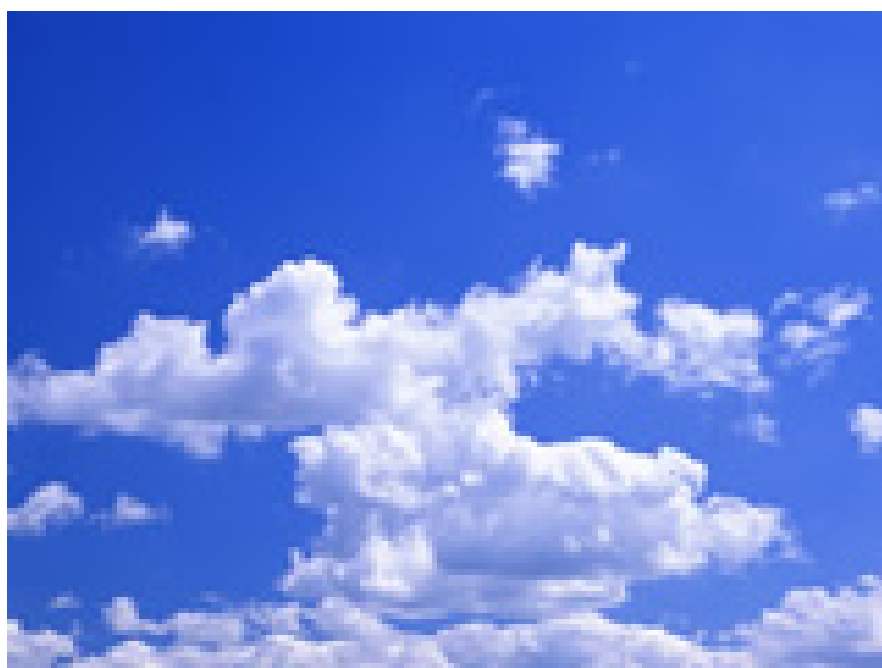


2024 年度

環境経営レポート



株式会社 杉田工務店

対象期間：2023 年 12 月～2024 年 11 月

発行日：2025 年 2 月 1 日

1. 組織の概要

- 事業所名及び代表者氏名

株式会社 杉田工務店
代表取締役社長 蓑輪 雄一

- 所在地

本 社：東京都北区東十条6-7-11
資材置場：埼玉県上尾市大字平方領々家680

- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 蓑輪 広子 TEL：03-3902-7660 FAX：03-3902-7661
Eメール：hiroko-minowa@sugita-co.jp

担当者 同 上

- 事業活動の内容

各種総合建築業（新築、リフォーム、各種補修等）

建設業の許可： 東京都知事許可（般-6）第7764号
（建築工事業、大工工事業、内装仕上工事業、とび・土工工事業、
防水工事業、塗装工事業）

- 事業の規模

売上高 2.06 億円/2024 年度

	本社	資材置場		
従業員数	8 名	無人		
延床面積	187.62 m ²	136.42 m ²		

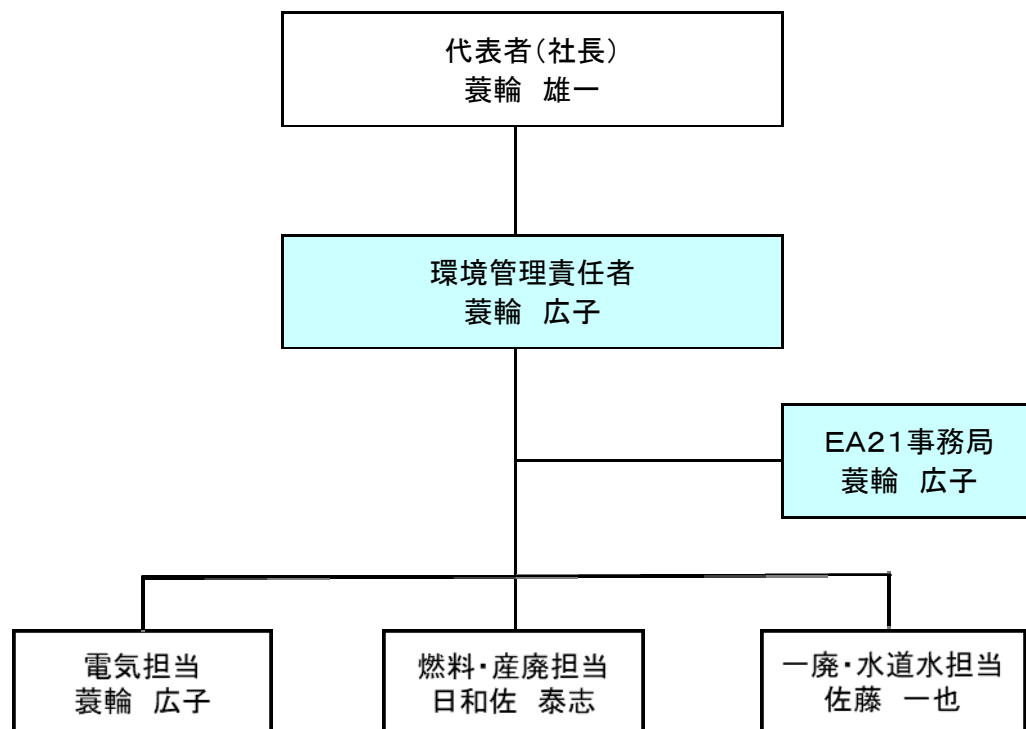
2. 対象範囲

- 登録組織名： 株式会社 杉田工務店

- 対象事業所： 本 社：東京都北区東十条6-7-11

資材置場：埼玉県上尾市大字平方領々家680

3. 実施体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・ 環境経営システムを構築・運用する（代表者からE A 2 1の権限を委任） ・ 実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ・ 環境目標・環境活動実施計画書/実績表の作成 ・ 教育・訓練の実施を指示 ・ 環境上の緊急事態への準備・対応 ・ 環境活動レポート作成 ・ 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
全従業員	・ 環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・ E A 2 1で決められた各自の役割を実施

4. 環境方針

環 境 経 営 方 針

私達は建設業を営み、それが地球環境に負荷を与えている事を十分認識し、環境に配慮した事業活動を行います。

法令遵守を徹底し、小さな事から少しずつでも地球環境への負荷低減に貢献出来るように基本方針を定め自主的・積極的に環境改善に取り組みます。

- 1、エコアクション 21 に基づく環境経営システムを構築・運用し、環境負荷低減に努めます。
- 2、省エネルギー化を徹底し、二酸化炭素排出量を削減し地球温暖化防止に努めます。
(電気・水道・ガソリンなどの資源の節約)
- 3、材料等は環境に優しいリサイクル可能な物を選択・使用し、施工時には省資源化を図り廃棄物の発生量を低減します。
- 4、環境に関連する法規制・条例等を遵守します。
- 5、社内に環境方針を掲示し、全社員及び協力会社にも環境経営システムを周知します。

制定日:2020 年 2 月 1 日

株式会社 杉田工務店

代表取締役 **兼 翰 雄 一**

5. 環境目標・環境目標の実績

中長期目標

	2017-2019 基準年度	2024~2026 年度
1. 二酸化炭素排出量削減		
・電気 (Kg-CO2)	3245	基準年度維持
・ガソリン (Kg-CO2)	9626	基準年度維持
・CO2合計 (Kg-CO2)	12871	基準年度維持
2. 廃棄物排出量削減		
・一廃 (t)	0.298	基準年度維持
・産廃 (t)	11.937	基準年度維持
3. 水使用量削減 (m ³)	76	基準年度維持
4. 化学物質の適正管理(kg)	6	適正管理
5. 環境配慮工事の提案(件)	1	2

※基準年度の値は、2017年度～2019年度の平均値

※CO2 排出係数は、2019年東京電力㈱の排出係数 0.441kg-co2/kwh を使用した。

2024 年度運用結果（2023 年 12 月～2024 年 11 月）

	基準年	目標	2024 年度実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (Kg-CO2)	3,245	基準年度維持	3,589	×
・自動車燃料 (Kg-CO2)	9,626	基準年度維持	8,601	△
・CO2合計 (Kg-CO2)	12,871	基準年度維持	12,190	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一廃 (t)	0.298	基準年度維持	0.212	○
・産廃 (t)	11.937	基準年度維持	18,319	×
3. 水使用量削減 (m ³)	76	基準年度維持	63	○
4. 化学物質の適正管理(kg)	6	適正管理	0	○
5. 環境配慮工事の提案(件)	1	2	2	○

○目標達成 △目標未達成但し基準年比減 ×目標未達成

6. 環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減（電気） ①不在エリアの消灯励行 ②LED 照明器具を使用 ③クールビズ・ウォームビズ励行 ④サーキュラー・加湿器を使用 ⑤省エネ型のポットを採用	・社員全体で消灯に取り組んだ ・電力の省エネ化 ・クールビズを意識的に行なった ・空調負荷低減に効果を発揮している ・加湿器や空気清浄機により使用電力が増加した ・電力、二酸化炭素の軽減	継続して実施する
二酸化炭素排出量削減（ガソリン） ①効率的なルートでの移動 ②不要な積荷の削減・見直し ③アイドリングストップの励行 ④急加速・急停車の防止 ⑤電車等の利用で社用車使用削減 ⑥ハイブリッド車の採用	・無駄のないルート検討を教育した ・お互いに積荷をチェックし削減した ・意識的に行っている ・エコドライブの教育を行った ・徒歩通勤への切替えによる使用削減 ・ハイブリッドカーへの乗り換え	継続して実施する
廃棄物排出量削減（一般・産廃） ①ミス印刷物、不要印刷物の削減 ②分別の徹底（リサイクル） ③再利用可能資源を捨てずに再利用 ④作業ミスによる廃棄量の削減	・指導によりミスプリントは減ってきた ・分別し綺麗な紙は再生紙として使った ・一廃も分別しリサイクルに努めた ・適宜分別、リサイクルできている。	継続して実施する
水使用量の削減 ①節水シールにより呼びかけ ②給水バルブ、定量水栓を絞り込む ③自動水栓取り付け ④洗濯回数を減らす	・全体会議で伝え、節水シールを貼った ・絞り込んでもすぐに慣れた ・トイレを定量水栓に変更	継続して実施する
化学物質適正管理 ①化学物質品名等調査 ②MSDS 収集 ③対策検討	・化学物質の使用はなかった ・資材置場で適正管理を徹底する	継続して実施する
環境配慮工事の提案 ① 木耐協の耐震補強工事を通じてまだ使用可能な木造住宅の解体を防ぎ二酸化炭素排出を削減する ② 材料のロスを少なくする。 ③ 各工事において環境に配慮した工事計画を提案する。	・積極的な営業活動が行えていない ・計画段階での細かい見直しで少しずつ実感できている ・環境負荷低減に貢献できる計画及び提案	継続して実施する

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、2024 年 11 月 30 日遵守評価の結果、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去 3 年間ありませんでした。

適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守状況の確認・評価
建築基準法	各種建築活動	違法行為はありません OK
廃棄物処理法	各種産業廃棄物の適正処理 業者との適正な委託契約 適正最終処分の確認	専門業者による適正処理 委託契約等 マニフェストによる処分確認 OK

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション 21 の取組を継続して、様々な角度から環境負荷低減への努力を社員と共に進めているが、数字だけでは確認できない環境問題への貢献は出来ていると思う。特に現場計画段階での産業廃棄物発生を抑制するリニューアル工事の検討、設計段階での仕様変更の提案などをお客様へ行い、そもそも環境を汚染する原因となる要因を排除する事で、環境負荷低減を実現している。

小さな現場でもゴミの分別、資源の再利用を徹底し、材料の余りは小さく刻んで次回工事の際のパッキンや補助部材としての再活用を会社全体で取り組んだ。

やれる事はやりつくした感があり、今後は現状の維持と更なる環境負荷低減への取り組みを、社内だけではなくお客様も関連業者も巻き込んで進めて行きたいと考えている。

(以上)

次回環境活動レポート発行予定＝2026 年 2 月頃